

# 認定書

国住参建第 1506 号  
令和 4 年 8 月 5 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 加藤 敬太 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1202
2. 認定をした構造方法等の名称  
給・排水管／アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

1. 構造名

給・排水管／アルミニウムはく張ガラスクロス・黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準  
耐火構造／貫通部分

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様	
開 口 部	形状	円形
	面積	14,103 $\pm$ 1,410 mm <sup>2</sup> 以下
占 積 率 (開口面積に対する管 の総合計の割合)	87.32%以下	
貫通する壁の構造等	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁(1時間) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁(1時間) (2)ALCパネル (3)コンクリート 厚さ100以上	

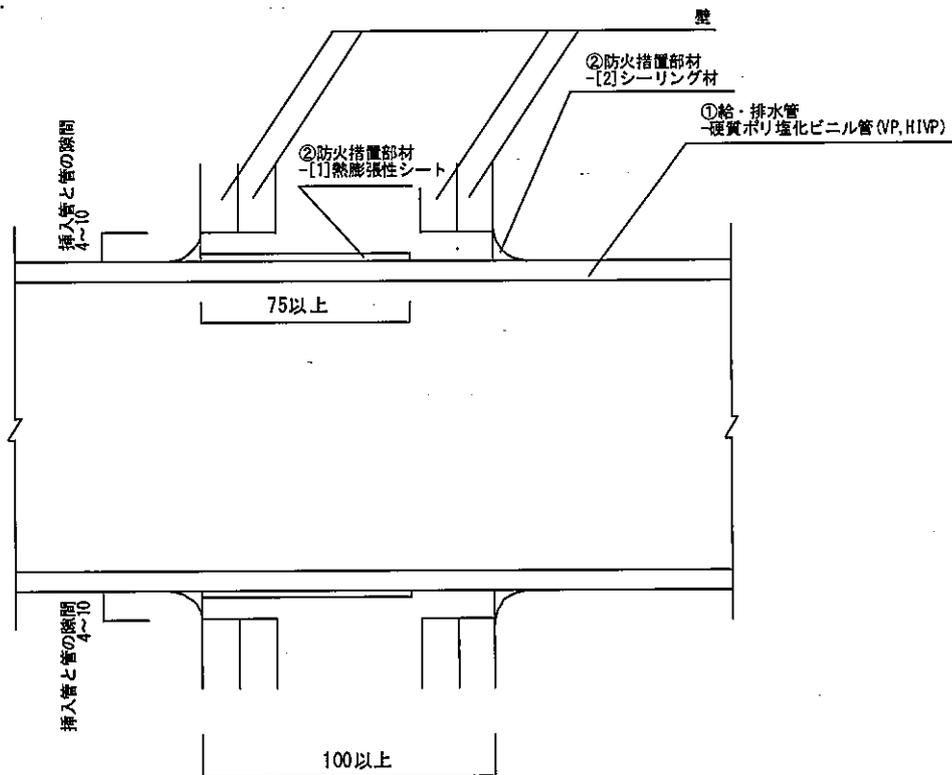
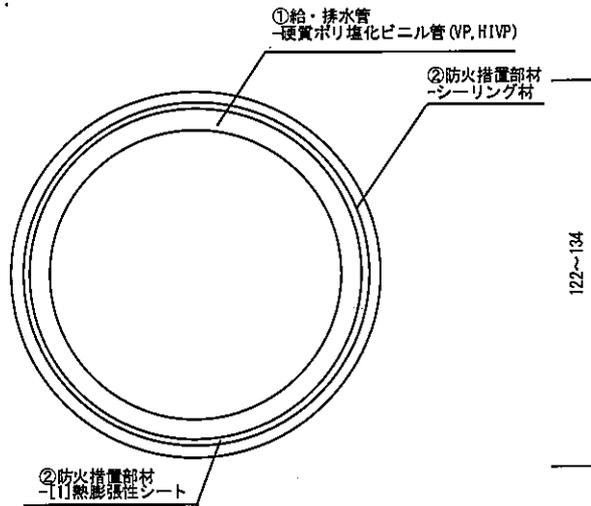
3. 材料構成

(寸法単位：mm)

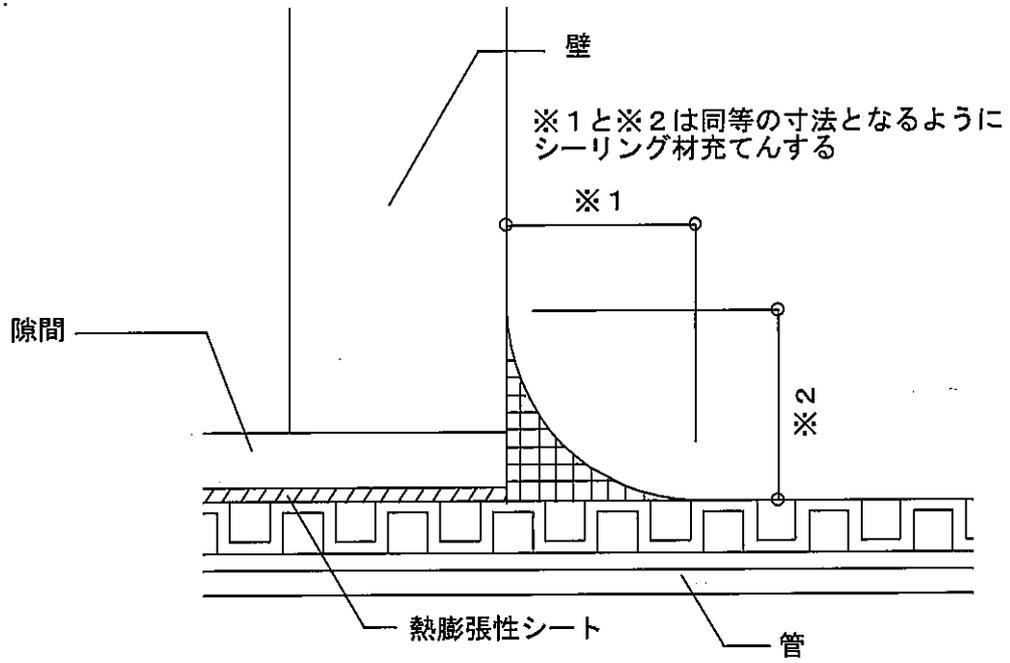
項目	仕様
①給・排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP、HIVP) ・規格：JIS K 6741、JIS K 6742 ・外径：114 $\pm$ 11.4以下 ・厚さ：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)6.6 $_{-0,+1.0}$ 以下 (JIS K 6741) (2)7.1 $\pm$ 0.5以下 (JIS K 6742) ・本数：1
②防火措置部材	[1]熱膨張性シート ・総厚さ 2.14 $\pm$ 0.21以上 ・幅 75 $\pm$ 7以上 [1]-1 基材 ・材質 アルミニウムはく張ガラスクロス ・厚さ 0.14 $_{-0.03,+0.05}$ 以上 ・幅 75 $\pm$ 7以上 [1]-2 シート ・材質 黒鉛含有ブチルゴムシート ・厚さ 2.0 $\pm$ 0.2以上 ・幅 75 $\pm$ 7以上 ・組成 (質量%)  [2]シーリング材 ・材質 シリコン系樹脂 変性シリコン系樹脂 ・使用量 幅5あたり 40g/m以上

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)



シーリング材 充てん詳細



構造説明図 (施工図)

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工手順>

#### (1) 事前準備

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する。

#### (2) 区画貫通処置

##### ① 熱膨張性シート巻付け位置の設定

熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。墨の位置は熱膨張性シートが壁体内に75mm以上巻付けられる位置にする。

##### ② 熱膨張性シートの巻付け

管に熱膨張性シートを巻付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻付けてもよい。また、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付ける(オーバーラップ可)。

##### ③ 管の設置

管をスライドさせ、所定の位置に設置する。

##### ④ 開口部の処理

隙間にシーリング材を充てんする。

## 6. 注意事項

・本構造に使用される熱膨張性シートについては、耐久性に留意し、所定の防火上の性能が維持されるよう、納品前には仕様寸法の確認を行い、保管時には湿度や直射日光を避けるなど適切に保管する。

・木造の耐火構造及び準耐火構造の壁については、壁内部へ火熱が侵入しないよう、ファイヤーストップ材を設けるなど適切に施工する。